

〔駐輪場リノベーション〕 駅前に交流拠点が誕生

● 事業着手に向けて市民ニーズを調査

平成28年度 = 市民アンケート調査
// = 見附駅周辺まちづくり協議会の開催
平成29年度 = みつけ駅前カフェの開催
平成30年度 = 整備基本計画(案)に対するパブリックコメントを実施
平成30年度～ = みつけ周辺駅つかう会議の開催

・ 駅利用者や市民、企業関係者等と意見交換

・ 社会実験等を通じて市民ニーズを把握

「**見附駅周辺つかう会議**」では、これまで使われてこなかったこれまで利用が少なかった見附駅に隣接する駐輪場2Fを交流空間へリノベーション賑わい創出を目的とした社会実験など、様々なイベントなどの活動を継続（H30～R3）



利用が少なかった駐輪場2F

有効活用
を検討



つかう会議の様子

＜社会実験の様子＞



子ども達のプレイスペース



多世代が集うスペース



駅前ファッションショーイベント

〔駐輪場リノベーション〕 駅前に交流拠点が誕生

これまでの使う会議での活動の成果を踏まえ、
参加メンバーで「こんな場所にして欲しい」という駅周辺への
思いを発表

CONCEPT みつける

「何もなかった」見附駅から「みんなの〇〇がみつける」見附駅へ。



なかま

仲間づくり
・
交流
・
井戸端会議
・



ゆめ・チャンス

起業・支援
・
情報交換・自己アピール
・
若者の活動・若者対象の事業
・



表現

文化交流
・
クリエイティブ
・
楽しいコト
・



安心

子ども・高校生
・
子育て
・
コミュニティづくり
・



思い描く《未来予想図》を発表
みんなの〇〇がみつける
見附駅へ



この際の「みつける」というキーワードを、そのまま交流施設の愛称として採用することに決定 しました

【見附駅駐輪場交流拠点の愛称】

MITSUKERU (ミツケル)

交流拠点の愛称 & ロゴマークの決定

【見附駅駐輪場交流拠点の愛称】

MITSUKERU (ミツケル)

市内唯一の鉄道駅である見附駅。

毎日約4,000人が利用し、多くの人が行き交う場所となっています。駅利用者の約7割が高校生であり、次世代を担う中高生や学生などの若者が駅に集えば、人と人が出逢う場所として、様々な可能性が生まれます。

何かしたいと思った時に、1人ではどうしたら良いかわからない... そんな時に駅に来ればつながり、“MITSUKERU (ミツケル)” ことができる、そんな居心地の良い場所にしたいという願いが込められています。

完成予想イメージ



「MITSUKERU」ロゴマーク



MITSUKERU



MITSUKERU



MITSUKERU